

## 第35回全国トイレシンポジウム2019 「公共交通のトイレの進化」

一般社団法人 日本トイレ協会会長 高橋志保彦  
第35回全国トイレシンポジウム実行委員長 小林 純子

立冬の候、会員の皆様にはご活躍のことと拝察申し上げます。

昨年に引き続き文化シヤッターBX ホールにて第35回全国トイレシンポジウムを開催いたします。  
お忙しいところ誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願いいたします。

### ◇テーマ 「公共交通のトイレの進化」

近年、日本のトイレは世界一とも言われ高く評価されています。その中で、どこへ行ってもトイレが綺麗という感覚になる理由の1つに、昨今の公共交通トイレのレベルアップがあるのではないのでしょうか。私達は、旅に出てその土地の風土や人々に出会い、感動します。その時、さりげなく心を癒してくれるのは、移動時に利用する公共交通トイレの存在です。それらのトイレには、技術力やメンテナンスの高さを裏付けた心遣いがあります。その細やかさは、わが国の特徴でもあります。オリンピック・パラリンピックが来年に迫り、インバウンドも急激な増加を見せている昨今を見据え、公共交通トイレの改善がどのような目標や内容で進化しているのか、課題は何かを空港、鉄道、高速道路、一般道路等の施設担当者を中心に発表していただきます。

### ◇日時 2019年 11月19日(火)

受付 9:00～ 開会 9:30～ 閉会 17:00～ 交流会 17:20～

### ◇会場 文化シヤッターBX ホール 東京都文京区西片1丁目17-3

### ◇参加費 無料(ただし、概要集代 2,000円)

### ◇主催 一般社団法人日本トイレ協会

### ◇後援

国土交通省、国土交通省観光庁、経済産業省、日本科学未来館、一般社団法人日本建築学会、公益法人日本建築家協会、都市環境デザイン会議、一般社団法人日本医療福祉建築協会、一般社団法人日本医療福祉設備協会、公益社団法人国際観光施設協会、一般社団法人自然公園財団、一般社団法人

人日本福祉のまちづくり学会、NPO 法人給排水設備研究会、一般社団法人日本能率協会、全国管工事業協同組合連合会、NPO 法人地域交流センター、一般社団法人日本レストルーム工業会、公益社団法人空気調和・衛生工学会（順不同）

◇協賛

TOTO 株式会社、株式会社 LIXIL、中日本ハイウェイ・メンテナンス東名株式会社、株式会社総合サービス、株式会社アメニティ、中日本ハイウェイ・メンテナンス中央株式会社、日本カルミック株式会社、日野興業株式会社、無臭元工業株式会社、株式会社アルボース、株式会社シミズオクト、優成サービス株式会社、湘南ステーションビル株式会社、コマニー株式会社、ウォレットジャパン株式会社、櫻木神社、文化シャッター株式会社（順不同）

《プログラム》（敬称略）

9:30 開会宣言 第35回全国トイレシンポジウム 実行委員長 小林純子

9:35 会長挨拶 一般社団法人日本トイレ協会 会長 高橋志保彦

9:40 基調講演 「公共交通ターミナルとトイレ」

秋山哲男（中央大学研究開発機構教授 日本福祉のまちづくり学会前会長 工学博士）

10:40 基調報告 「公共交通のトイレの現状の進化と課題」

1 高速道路のトイレ

中日本高速道路㈱ 東京支社 横浜保全・サービスセンター 副所長 山本浩司

「インバウンド対策・トイレ床のドライ清掃への移行のための検証等」

2 鉄道のトイレ

JR 東日本横浜支社 横浜建築技術センター 山本早紀・野村洋介

「トイレ改良工事におけるメンテナンスに考慮した仕様の検討」

JR 東日本東京支社 新宿建築技術センター 榎本 藍・山浦 賢

「駅トイレにおける設備使用実態について」

3 空港のトイレ

成田国際空港株式会社 施設保全部 建築グループ 鎌田暁生

「成田空港におけるリニューアル」

4 道の駅のトイレ

八千代市経済環境部農政課 課長 萩野光誠

「道の駅そしてそのトイレの現状と課題」

12:00 グッドトイレ選奨応募作品の紹介

◇◇◇ 12:30~13:30 ◇◇◇ 休憩 ◇◇◇ 「グッドトイレ選奨」投票 ◇◇◇

13:30 プレゼンテーションセッション ～会員による研究・活動の発表～

1 戸田初音(私立大学4年生) 「トイレと女性の社会進出の関係について」

2 前田一樹(株式会社 LIXIL) 「災害配慮トイレ/レジリエンストイレ」

3 災害用トイレ特別研究会・熊本好美(日野興業株式会社)

「災害時のトイレ問題、意識・知識・備えが大事！」

- 4 山本耕平(株式会社ダイナックス都市環境研究所)  
「自治体のトイレ関連行政についての調査 速報」

◇◇◇ 14:40~15:00 ◇◇◇ 休憩 ◇◇◇

15:00 パネルディスカッション「公共交通のトイレの今後について」

基調報告に関連して、公共交通のトイレの進化と課題などについてディスカッションをしながら  
問題点の洗い出し、課題について深掘りしていく

◎コーディネーター

高橋志保彦 日本トイレ協会会長・神奈川大学名誉教授 建築家

◎パネリスト

山本浩司(中日本高速道路(株)東京支社 横浜保全・サービスセンター 副所長)

山本早紀(JR 東日本横浜支社 横浜建築技術センター)

山浦 賢(JR 東日本東京支社 新宿建築技術センター)

坂本圭司(JR 東日本ビルテック株式会社)

鎌田暁生(成田国際空港株式会社 施設保全部 建築グループ)

萩野光誠(千葉県八千代市経済環境部 農政課 課長)

小野田吉純(千葉県八千代市 副市長)

◎質問者

鎌田元康(東京大学名誉教授工学博士／環境設備)

上野義雪(千葉工業大学元教授／人間工学)

川内美彦(東洋大学元教授／ユニバーサルデザイン)

小林純子(設計事務所 Gondra 代表／トイレデザイン)

17:00 閉会

【交流懇親会】

17:20~19:20 交流会「グッドトイレ選奨」発表・表彰

参加費:4,000円 会場:文化シャッターBX ホール

※ 交流懇親会に参加ご希望の方は、11月15日(金)までに運営事務局までお申込みください。

◇ 展示(文化シャッターBX ホールにて、参加者・市民向けの展示)

・グッドトイレ選奨応募作品パネル

・携帯トイレの備蓄など最近のトイレ問題についての啓発展示(一般社団法人日本トイレ協会)

・協賛企業による企業展示

## グッドトイレ選奨 《応募一覧》

No.	タイトル	応募者名
1	和歌山県田辺市大坊小学校におけるトイレの防災授業／ジュニア・ボランティア育成活動	和歌山県田辺市教育委員会 浅里 志乃 株式会社 LIXIL 松本 新
2	トイレ用高機能塩ビ床材『消臭 NS トワレ NW』の改良～ 斑点汚れの解消に向けて ～	東リ株式会社 小金丸 昭洋
3	世界初!40feet トイレコンテナ「TC40K-ML」の開発 ～IOT 搭載(空室確認)、室内移動間仕切りで状況に合わせて男女比の変更が可能～	ウォレットジャパン株式会社 岡田 貴幸
4	公共トイレの利用実態に関する研究 その3 国際空港におけるトイレ到着率と待ち行列	コマニー株式会社 高橋未樹子
5	お客さまから頂く要望等についての取り組み～北陸自動車道等 NEXCO 中日本 金沢支社の取り組み～	中日本高速道路(株) 金沢支社 中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸(株)
6	「渋谷区トイレ環境整備基本方針」の策定について～インクルーシブなトイレ環境を目指して～	渋谷区長 長谷部 健
7	地球トイレ は「トイレは豊かな海への入口」という視点で、日本と世界をソーシャルデザインする取組です。	株式会社 EM 生活 環境改善チーム
8	3次元レーザセンサを用いた迷い行動の実態把握	中日本高速道路(株) 東京支社 岩佐育恵、山本浩司 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株) 今井詩織、鈴木孝明
9	世界中のすべての人にやさしいトイレの導入	中日本高速道路(株) 東京支社 嶋浦早紀、伊藤佑治、山本浩司 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株) 今井詩織
10	大型車ドライバーに配慮した豊橋 PA(下り線)トイレの取り組み概要と運用評価	中日本高速道路(株) 東京支社 馬屋原敦、竹澤弘平、伊藤佑治、荒木華子
11	タブレットを用いたトイレの長時間利用対策 -対策の導入・評価、タブレットの 拡張性について-	中日本高速道路(株) 東京支社 荒木華子、伊藤佑治 中日本高速道路(株) 横浜保全・サービスセンター 山本浩司 中日本高速道路(株) 浜松保全・サービスセンター 馬屋原敦 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株) 今井詩織
12	トイレアクセサリを売って国際支援! ～トイレが無い国にトイレを作ろう!	アントイレプランナー代表 白倉正子&デザイン松
13	簡易洋式トイレ「ゆうパール fit」	YAMATO-NB株式会社 峰尾 欽士

※ シンポジウムに参加ご希望の方は、運営事務局へメールにてお申込みください。

宛先：[sympo@j-toilet.com](mailto:sympo@j-toilet.com)

件名：第 35 回全国トイレシンポジウム申込み

本文：①氏名(ふりがな) ②交流懇親会への参加の有無 ③所属1 自治体・団体・企業名  
④所属2 所属部署・役職 ⑤連絡先住所 ⑥連絡先 Tel ⑦連絡先 e-mail

\* メールが使用できない方は、FAX からお申込みください。1 名につき 1 枚お送りください。

◇ 事務局 第 35 回全国トイレシンポジウム実行委員会運営事務局

設計事務所 Gondra 内 (担当: 寅、浅井、福嶋)

Tel: 03-5805-3556 寅携帯 090-7010-5867 / Fax: 03-5805-3557

E-mail: [sympo@j-toilet.com](mailto:sympo@j-toilet.com) / URL: <https://j-toilet.com>

◇ 文化シャッターBX ホールへのアクセス: 東京都文京区西片 1 丁目 17-3

都営地下鉄三田線「春日駅」A5・A6 出口より徒歩 3 分

都営地下鉄大江戸線「春日駅」A5・A6 出口より徒歩 3 分

東京メトロ南北線「後楽園駅」8 番出口より徒歩 7 分

東京メトロ丸の内線「後楽園駅」4b 出口より徒歩 12 分

JR 総武線「水道橋駅」お茶の水寄り出口より徒歩 15 分





## 使う人の「基本のき」が基本。

みんなにやさしいトイレ会議 実行委員会  
実行委員長 竹中 晴美

### みんなにやさしい使い勝手のはじまり

33年前、「女性だけのまち歩き・長崎ウーマンズ・ウォークラリー」(今年で33回目)を企画した時、女性のまち歩きには、トイレは必須よね!のもとに、長崎市内公衆トイレの現状を調査、行政に提出。それがトイレとの関わりの始まり。現状は、使い勝手以前の問題「あれば助かる」という程度。トイレには市民権?もない。トイレに対する意識もない。使い勝手が悪いことなども「竹中さんは、好きだからいいけど、私たちには関係ない」つまり公衆トイレは市民にとって他人事⇒行政のすること。行政側も「使い勝手が悪いなどの、要望がないから・・・」確かに使う側からの意見を、きちんと伝えなければ、伝わらない。

大人から子ども、身体の不自由な方まで、「みんなにやさしい使い勝手の公衆トイレ」を「①行政(長崎市) ②専門家(LIXIL) ③使う側(トイレ会議)」3つの視点で取り組む、ボランティア活動組織を立ち上げて9年目。現在までに長崎市内9か所の公衆トイレ、5か所の公園トイレの改修に、私たちが提言する「使い勝手の基本マニュアル」が取り入れられている。



使うひとにやさしい使い勝手の基本マニュアル  
ありそうでなかった、なかなか気がつかない機能

基本マニュアルを取り入れた公衆トイレ  
ベンチは何かと便利



これまでに5回のトイレシンポジウム、「便育」も3回開催。2019年6月「楽しく便育ゲンキに便行く!？」開催。食育はあるのに「便育」は、いまだになに?といわれる。うんこは、身体からの大事なおたよりですということを大人と子ども150人余りで楽しく学ぶ。

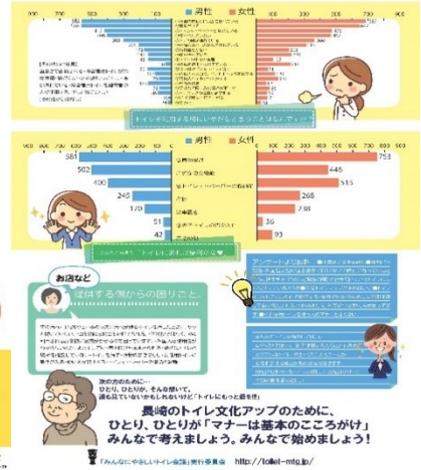
2018年6月トイレのマナーアップキャンペーン実施。1729人からのアンケート回答をもとに、マナーアップポスター・チラシを作成。24か所の公衆トイレに掲示。あきらかにイタズラが減ったことを実感!



トイレシンポジウムチラシ



マナーアップポスター



## 新しい視点！長崎大学病院泌尿器科との関り

3年前、長崎大学病院泌尿器・腎移植外科の松尾先生から協力依頼のメールが届く。なぜ通常のトイレでは不便なのか？自己導尿患者の現状及び、導尿患者のトイレ・使用するカテーテルなどについて学ぶ。しかしほとんどの方が自己導尿患者の存在を知らないが現状。まずは自己導尿患者の方について理解を得るために長崎新聞に取材依頼。また、実際に便座を取り寄せる・・・など地道な活動から取り組みを開始した。

## 長崎大学病院泌尿器科・腎移植外科 松尾朋博先生について

「自己導尿が必要な患者の方は、排せつの際に特殊な機器や消毒が必要で、通常のトイレでは不便であることから、生活の場、活動の場が限られているという実情を発信する場が無かった。「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会の活動に感銘を受け、長崎大学として何か支援できないか考えていた」。そんな長崎大学泌尿器科松尾先生の想いが、私たちの新しい取り組みの後押しとなる。

## 平成30年8月30日 長崎のコンビニ初！自己導尿患者のトイレ設置

長崎市内の公衆トイレ改善への取組で、手を組んでいる「長崎市まちなか事業推進室※」と共に、トイレの設置場所を探す日々が2年。たまたま店舗改修予定の企業(ファミリーマート)の「何か地域貢献に繋がる取り組みはないかの想い⇒店舗のトイレを民間開放」①トイレ会議 ②行政 ③企業(ファミリーマート) ④大学病院 ⑤専門家(片倉工業)の5つの組織が連携してこそ実現した自己導尿患者のトイレ設置。



3年間、地道な道のり...

導尿患者の実情を  
長崎新聞で発信

片倉工業(株)による  
「前広便座」の  
実証実験

まちぶらプロジェクト  
と連携

コンビニに、トイレを使う人のマナーが悪いということで、貸したくないと言われることもある。それは、観光地長崎でも同じ。しかし、改修にあたり、あえて大きなトイレのサインを掲示。長崎のコンビニ初の自己導尿患者のトイレは2階のサロンに設置。

※長崎市では、市内中心部(まちなか)の賑わいを高めることを目的として市民や市民団体や、企業、大学など様な組織と連携を図りながら、地域力によるまちづくりを推進している「まちぶらプロジェクト」に取り組んでいる。「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会は、「まちぶらプロジェクト」第2号に認定されている。



## 日本トイレ協会 第34回トイレシンポジウム・プレゼンテーションセッションで発表

2018年11月19日 第34回全国トイレシンポジウム「公共トイレが直面する問題を考える」に参加、“5つの視点が入ってます！長崎発「自己導尿患者のトイレ」をコンビニに。“のテーマでプレゼン。全国から専門家などが集まる、このような協会の中でも、「自己導尿患者」の存在、自己導尿患者の便座について知らない方が多かったことに驚く。長崎大学泌尿器科の松尾先生の「この輪が広がっていくことを強く望んでいます」の言葉を改めて実感。広く多くの方から理解を得るために、もうひとつの夢、「自己導尿患者のピクトグラム」を考案する。

## 自己導尿患者のピクトグラムの提案&市長報告

ピクトグラムは、誰が見てもひとめでわかりようにシンプルなデザインを提案。視覚障害者の方のためはモノクロでも提案。自己導尿患者の方は、導尿患者という名称を気にされるという松尾先生のアドバイスによりピクトグラムのサインは「CIC」clean intermittent catheterizationからの頭文字を採用しました。



©ntk

## 今後の取り組み

長崎大学泌尿器科の松尾先生とともに、自己導尿患者のトイレ及びピクトグラムを広く全国に伝えていきたい。また現在、3年後に完成予定の「新市庁舎」のトイレのために「長崎市大型事業推進室」と共に取

り組んでいる。出来れば「基本のき」を新化させて「長崎らしい楽しいトイレ」を目指したい。また長崎市交流施設整備(通称出島メッセ)のトイレに関わっているので「基本き」プラスグローバルに。

これまで多くの賞を頂きましたが未だにトイレの前には課題がいっぱいです。「お金をかけるのではなく、気持ちをかける」そして「次の方のために」を基本に、これからも地域のために踏ん張っていきたい。

### 【受賞歴】

2014 年第一回市民活動表彰「ランタナ大賞」・2013 年長崎市まちぶらプロジェクト認定・2014 年「ながさき・おもてなし表彰:知事賞」・2014 年日本トイレ協会グッドトイレ選奨(2 回)・2015 年「あしたのまちづくり・くらしづくり活動奨励賞」・2019 年 国際ロータリークラブ長崎西クラブ「ボランティア活動表彰」・2019 年日本老年泌尿器科学会学会賞・2019年長崎県まちづくり功労県民表彰



(個人会員)

## 座談会 中国のトイレ革命について ～北京でのトイレ文化講座に招かれて～ 発刊のお知らせ

会長 高橋 志保彦



昨年発行しました「トイレ談義」に続く第2集です。今回は中国のトイレ環境改善のために中国に招聘された3人による鼎談(座談会)です。

小林純子氏と村上八千世氏は2018年に、高橋は2017年に、それぞれ中国国際公益学院から招かれ、我が国のトイレ施設の紹介、トイレ文化や幼児教育、トイレの設計・計画、環境整備等、ワークショップにも参加された様子が話されています。習近平主席が2015年に発した「トイレ革命」のもと、中国では近年急速にトイレの環境改善を行っている様子が垣間見えると思います。

(事務局注: 会員のみなさまには日本トイレ協会ニュース19-3号に同封してお送りしております。)

# 台風19号の被害と政府支援発動状況(トイレ関連)と被災地視察について

災害用トイレ特別研究会

2019年9月9日千葉県に上陸した台風15号の被害について、一部地域にて断水が発生したが、下水道が機能していた為、家庭用トイレに水を流して使用できる地域が多く、仮設トイレの要請はほぼなかった。しかし、被害の全容が掴めず、災害時のトイレに関するアンケートを当協会にて行うこととした(アンケート結果は別の機会にて)。その後発生した台風19号については、各地に深刻な被害をもたらしたことから、経済産業省より当協会へ災害用トイレの要請があった。

## 1. 台風19号の被害状況

### (1)概況

10月12日(土)19時頃伊豆半島に上陸。大型で速度が遅く、猛烈な風と豪雨をもたらし、広範囲で河川の氾濫や浸水が発生、住宅が損壊するなど甚大な被害となった。

大雨特別警報発令(1都12県)※発令順

群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、新潟県、岩手県

### (2)河川被害

① 堤防決壊 7 県 74 河川 128 カ所 ② 氾濫 142 河川

③ 浸水範囲 2.3 万ヘクタール超え(東京ドーム約 5 千個分) ※10/29 時点 時事通信

### (3)住宅被害 全壊・半壊・一部損壊 9,351 棟

床上浸水 33,579 棟 ※西日本豪雨(2018年)約 7,000 棟の約 5 倍

床下浸水 36,691 棟

### (4)断水被害(1都13県)

断水被害の大きいエリア: **福島県(浄水場・ポンプ場が水没)**、**茨城県**

都道府県	最大断水戸数	断水戸数 (10/31 時点)	断水期間
岩手県	1,972	0	10/13~10/29
宮城県	4,144	2,686	10/13~
福島県	76,859	264	10/12~
茨城県	27,598	0	10/13~10/22
栃木県	11,346	0	10/12~10/21
群馬県	4,950	0	10/12~10/23
埼玉県	1,727	0	10/12~10/21
千葉県	2,310	0	10/12~10/17
東京都	3,426	0	10/13~10/24
神奈川県	14,111	0	10/12~10/23

山梨県	457	0	10/15～10//28
長野県	5,097	4	10/12～
静岡県	11,665	0	10/12～10/20
三重県	490	0	10/12～10/13
合計	166,152	2,954	-

※内閣府災害情報システムより引用

## 2.非常災害対策本部の動きとプッシュ型支援の発動状況

10/13(日)発災日 非常災害対策本部を設置。防災担当大臣が現地視察。

10/14(月祝) 各省庁横断(各局長級)の「被災者生活支援チーム」の設置を指示。

①電力と水道の早期復旧②水・食料などの緊急輸送

③避難所生活の環境整備④住宅の確保

などプッシュ型にて政府一丸となって迅速に進めていく事を発表。

10/16(水) 「プッシュ型支援」強化の為、7.1億円の支出を同日中に決定する方針を表明

※1 2019年10月23日時点の情報

※2 出典:内閣府、消防庁、一部 時事通信社、日経新聞等より引用。

## 3.被災地視察(日野興業株式会社 谷本)

前述の通り、経済産業省より支援物資の要請があり、仮設トイレが設置されたことから栃木県、福島県、宮城県等の3県の避難所(閉鎖も含む)及び仮設トイレが設置された場所へ10/23(水)～24(木)に掛けて視察に訪れた。(以下の内容は視察した場所及び視察した時点の情報に限られますのでご了承下さい。)

### (1)現地の状況

#### 【栃木県那須烏山市】10/23 視察(発災11日目)

栃木県那須烏山市においては、視察時には既に公共トイレや家庭用トイレが使用出来るようになっていた為、仮設トイレに使用禁止措置が施され、汲み取りも完了していた。この地域での和式トイレ洋式トイレの比率は和式70%・洋式30%であった。



↑那須烏山市の避難所(視察時閉鎖)



↑間もなく撤去される仮設トイレ



#### 【福島県いわき市】10/24 視察(発災12日目)

福島県いわき市では、前述の資料の通り、浄水場・ポンプ場が水没し、多くの地区で断水が発生していたが、下水道が機能していた為、家庭用トイレに水を流して使用できる地域が多かった。視察に訪れた

いわき市の平第四小学校は、近隣住民の方の入浴施設、水汲み場として利用されており、設置された仮設トイレも入浴・給水目的と併せて住民の方が利用されていた。また、ボランティアの方、自衛隊の方も仮設トイレを利用していた。但し、設置されたものの多くは、和式であった。



↑いわき市内のスーパーに設置された仮設トイレ



↑給水・入浴支援場

【宮城県丸森町】10/24 視察(発災 12 日目)

宮城県丸森町においても、多くの地区で断水した。下水道は機能していたが、浸水被害が甚大な地区及び住宅街の1階にしかトイレがない家庭では、汚泥の進入により自宅のトイレの利用が困難になっており、仮設トイレが設置された。2階にトイレがある家庭では、福島県や栃木県のように水を流してトイレを利用していた。視察時に仮設トイレが届くまで使用されていた公衆トイレは、汚物まみれで不衛生な状態であった。設置された仮設トイレは、宮城県(経済産業省の支援物資含む)・教育委員会を介して要請が行われ、全棟洋式にて設置された。また、宮城県庁と北海道庁との防災協定により、北海道よりコンテナ型の良質なトイレが災害物資として送りこまれていた。避難所周辺の仮設トイレについては撤去していく方針であった。



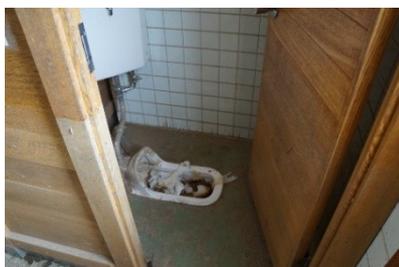
↑ボランティアセンターに設置された経済産業省手配の仮設トイレ



↑小学校に設置された生徒用トイレ



↑当協会加盟企業(ウォレットジャパン)のコンテナ型トイレ



↑公衆のトイレ



↑多目的トイレ



↑一般家庭向けに設置された仮設トイレ

(2)総括

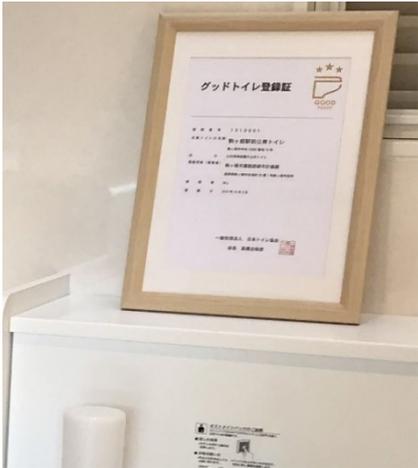
今回の視察では、経済産業省が手配した支援物資に加え、自治体の手配を行った仮設トイレも設置されており、3県とも仮設トイレの手配がスムーズに行われていた。設置されたトイレの種類については、自治体によって差が出る形となり、宮城県では全棟洋式トイレ、栃木県・福島県では和式トイレが中心となったが、近年発生した東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨と比較しても、洋式トイレの比率は高ま

りつつある。特に宮城県は、大規模なイベントが多く地場のレンタル業者の規模が大きいこと、洋式保有率も高かったことから迅速な出荷対応が可能となり、洋式比率が高くなったとみられる。発災当初より宮城県は、洋式トイレを指定して要請したり、他県と締結した協定を活かしたコンテナ型のトイレを設置するといった要請方法をとっていた。福島県・宮城県はともに東日本大震災を経験しており、今回迅速な手配を行えたことから、改めて意識・知識の向上、災害に向けた連携の重要性を感じた。また、平常時に建設現場やイベント現場で使用される仮設トイレが災害時における避難所などに使用される為、今後も更なる建設現場向け仮設トイレの洋式化・普及率向上が望まれる。

以上のことから、災害用トイレ特別研究会として引き続き一般市民や国・自治体への意識向上を図っていききたい。

## グッドトイレ登録第1号のご紹介

日本トイレ協会では、おもてなしの心がこもったトイレを「グッドトイレ」と名付け、その普及を図る活動を進めてまいりました。この度、第1号として **長野県駒ヶ根市駅前公衆トイレ** が登録されました。会員のみなさまからの登録もお待ちしています。グッドトイレ推進運動を進めていきましょう。グッドトイレは日本トイレ協会ホームページから申請することができます。



# 第5回 トイレ産業展2019 TOILET TOKYO 2019

昨年につき、一般社団法人産業能率協会主催の「第5回トイレ産業展2019」に協賛し、出展をいたします。また、期間中に開催されるセミナーでは当協会より 小林純子副会長、谷本亘運営委員、新妻普宣運営委員が登壇いたします。一般社団法人日本トイレ協会出展ブースでは運営委員・事務局が常時対応しておりますので、是非お立ち寄りください。

【会場】 東京ビッグサイト 西展示棟2ホール

【開催日時】 2019年11月13～15日(3日間) 各日 10時～17時

【セミナープログラム】 ★日本トイレ協会会員によるセミナー

11月14日(木)

★10:30 - 11:30 西ホール 講演会場 C

駅トイレ進化における小田急電鉄の取り組み(仮)

設計事務所ゴンドラ 代表 / 一般社団法人日本トイレ協会 副会長 小林 純子 ほか

12:30 - 13:30 南4ホール 香りデザイン東京特別講演会場

被災地のトイレ状況及 悪臭の調査と消臭について

長崎国際大学 教授 佐藤 博

16:00 - 16:40 西ホール 講演会場 D

快適な現場づくり、快適トイレと暑さ対策について

積水ハウスグループ 積和建設神奈川株式会社 藤沢事業所 所長 高橋 勝彦

大東建託株式会社 技術教育部 課長 茂田 守裕

全国低層住宅労務安全協議会 快適トイレ推進プロジェクト プロジェクトリーダー 谷本 亘

11月15日(金)

★15:00 -16:00

南3ホール ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO ソリューションプレゼンセミナー会場

災害時のトイレ問題、意識・知識・備えが大事！

経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室

高知県林業振興・環境部 環境対策課

一般社団法人日本トイレ協会 運営委員 新妻 普宣

一般社団法人日本トイレ協会 運営委員 谷本 亘

## 事務局よりお知らせ

重要

### ◆ 年会費納入のお願い

5月末までにお願ひしておりました年会費の納入がお済みでない方は、速やかに納入のお手続きをお願いいたします。10月31日までにお振込みの確認できていない会員の方へは、「年会費納入のお願い」を日本トイレ協会ニュース19-3号に同封させていただきましたので、振込先などご確認ください。トイレ協会の活動は皆さまからの会費に支えられております。ご協力をお願いいたします。

### ◆ Facebook「一般社団法人日本トイレ協会」

一般社団法人日本トイレ協会では、Facebookにて、トイレに関する情報を発信しています。会員のみならず皆さまからの情報提供をお待ちしています。

「 いいね！」をお願いします。

### ◆ メール配信確認のお願い

協会より会員のみならず宛に、事務局からのお知らせや各研究会の定例会・セミナー等のご案内、経産省からの情報などをメール配信させていただいておりますが、「そういったメールは届いていない」という方は、お手数ですが事務局までメールにてお知らせください。

### ◆ 会員登録情報の更新について

会員登録情報(会員氏名、法人の場合は担当者氏名、所属、役職、メールアドレス、電話番号、ご住所など)に変更があった場合は、協会からの郵送物やメール配信が届かなくなってしまうので、お手数ですが事務局までメールにてお知らせください。

### ◆ 協会ニュースへの投稿募集について

協会ニュースでは、会員の皆さまからの投稿を募集しております。活動の紹介、トイレへの思い、研究分野の発表など、会員同士の交流、情報交換の場としてトイレ協会ニュースを活用していただければと考えております。まずは事務局にお声かけください。

〔参考〕 原稿書式 Microsoft Word  
原稿要領 A4判を使用(余白 縦は上下各20mm、横は左右各20mm)  
明朝体 11ポイント  
図表は本文中の適当な箇所に挿入してください。

(事務局メールアドレス [jimukyoku@j-toilet.com](mailto:jimukyoku@j-toilet.com))

---

## 理事会・運営委員会経過 (2019年8月～11月)

---

2019年度(第35期)第5回 運営委員会  
9月2日(月)17:30～19:30 コマニー(株)東京事務所会議室  
議題 (1) 第35回全国トイレシンポジウムについて

- (2) グッドトイレ選奨について
- (3) 自治体アンケートについて
- (4) トイレ産業展2019について
- (5) 経産省こどもデーの報告
- (6) 災害用トイレに関する組織の立ち上げについて
- (7) 防災協定に対する協会としての取り組みについて

#### 2019 年度(第 35 期)第6回 運営委員会

10月7日(月)17:30~19:30 コマニー(株)東京事務所会議室

- 議題 (1) 第 35 回全国トイレシンポジウムについて
- (2) 自治体アンケートについて
  - (3) トイレ産業展 2019 について
  - (4) 災害用トイレに関する組織の立ち上げについて
  - (5) 「トイレ設備マークのご案内」の配布について

#### 2019 年度(第 35 期)第2回 理事会

11月5日(火)15:30~16:00 コマニー(株)東京事務所会議室

- 議題 (1) 第 35 回全国トイレシンポジウムについて
- (2) 災害・仮設トイレ研究会の立ち上げについて
  - (3) グッドトイレ推進運動の促進方法について
  - (4) 「トイレ産業展 2019」への参加について

#### 2019 年度(第 35 期)第7回 運営委員会

11月5日(火)17:30~19:30 コマニー(株)東京事務所会議室

- 議題 (1) 第 35 回全国トイレシンポジウムについて
- (2) トイレ産業展 2019 について
  - (3) 災害・仮設トイレ研究会の立ち上げについて

## 編集後記

協会ニュースの編集を担当して6号目の発行となります。原稿を編集していますと執筆された方が文字に込めた思いを感じ、お会いしたことがない方でもグッと親しくなったような気になります。言葉を選んで書かれたものを読み、想像することは楽しい作業です。より多くの会員の方と文字を通じてお近づきになりたいです。投稿お待ちしております。(事務局 小澤美紀)

## 一般社団法人日本トイレ協会

JAPAN TOILET ASSOCIATION

〒112-0003 東京都文京区春日 1-5-3 春日タウンホーム 1F-A

Tel 03-5844-6123

Mail : [jimukyoku@j-toilet.com](mailto:jimukyoku@j-toilet.com) / URL: <https://j-toilet.com/>